

部局名	健康福祉部	所属名	長寿支援課	所属長名	小川 敏行	電 話	483-1151 内線2220
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	9088		事務事業名称	介護認定審査会事業					短縮コード	経常	9088	臨時	
予算区分	会計	35	介護保険事業特別会計	款	01	総務費	項	03	介護認定審査費	目	01	介護認定審査会費	
区 分	☐ 自治事務 ☒ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		介護保険法、八千代市介護保険条例						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
平成12年4月、介護保険法の施行による。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして					
高齢化が進む中、介護を必要とする人は年々増加傾向にある。また、国の認定基準の変更および要介護認定区分の見直しに伴い、より適正な運営が求められている。						大項目（節）	03	社会保障					
						中 項 目	02	介護保険					
						小項目（施策）	02	保険財政の健全運営					
						細 項 目	01	財政運営の充実					
実施計画の計画事業													
計画事業の位置付けの有無					☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円	

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	介護保険法に基づく要介護認定・要支援認定申請者、要介護認定区分変更申請者、要介護更新申請者、要支援更新申請者									
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： 認定調査員が作成した「認定調査票（概況調査）」及び「認定調査票（基本調査）」と主治医が作成した「主治医意見書」をもとにコンピュータ処理をし出力された一次判定資料「介護認定審査会資料」及び「認定調査票（特記事項）の写し」、「主治医意見書の写し」をもとに保健、医療、福祉に関する学識経験者で構成される介護認定審査会において、5名ないし3名の審査会委員が、国が定めた要介護認定審査基準に基づき、合議によって要介護度等の審査・判定を行う。									
	※平成19年度に計画していること： 平18年度と同じ									
意図 （何を狙っているのか）	要介護認定等を公平・公正にかつ迅速に行う。									
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外									
区 分					単位	17年度	18年度		19年度	
						実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	申請件数	件	3,174	5,300	4,743	5,100			
	指標2									
	指標3									
活動指標	指標1	審査件数	件	3,107	5,100	4,381	5,100			
	指標2									
	指標3									
成果指標	指標1	審査件数/申請件数	%	97.9	97	92	100			
	指標2									
	指標3									
上位成果指標	指標1									
	指標2									
	指標3									

コード		9088	事務事業名称	介護認定審査会事業			所属名	長寿支援課
			単位	1 7 年度	1 8 年度		1 9 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	2	0	0	0	
		県	千円		0	0	0	
		地方債	千円		0	0	0	
		一般財源	千円		0	0	0	
		その他	千円	21, 470	26, 428	24, 445	27, 721	
	主な事業費の内訳			委員報酬 2 7 5 0 0 円×延べ738人＝20295000円	報酬24, 997, 500円	委員報酬27, 500円×延べ843人＝23, 182, 500円	報酬27, 721, 000円	
人件費 (B)			千円	21, 701	25, 302. 6	25, 616. 1	25, 616. 1	
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	43, 173	51, 730. 6	50, 061. 1	53, 337. 1	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由					
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☐ 結び付いている		「法定受託事務」のため評価対象外					
			☐ 結び付くが見直しの余地がある							
			☐ 結びつきが弱い・ない							
			☒ 評価対象外事項							
目的 妥当性	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		「法定受託事務」のため評価対象外					
			☐ 達成していない							
			☒ 評価対象外事項							
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		「法定受託事務」のため評価対象外					
☐ 可能性はない										
☒ 評価対象外事項										
目的 妥当性	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☐ 現状のままでよい		「法定受託事務」のため評価対象外					
			☐ 見直す必要がある							
			☒ 評価対象外事項							
	有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある		介護認定審査会は、介護保険法及び介護保険条例の規定により市が設置し、審査会員は、保健、医療、福祉に関する学識経験を有する者のうちから、市長が任命するものであり、民間事業者へ委託できる事業ではない				
☐ 効率性向上の可能性はある										
☐ 両方可能性はある										
☒ 可能性がない										
⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。				☐ 民間委託等						
				☐ 臨時的任用職員等の活用						
				☐ I T 化等業務プロセスの見直し						
				☐ 受益者負担の見直し						
				☐ 類似事業との統合・役割見直し		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
				☐ 上記以外の方法						
⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある								
		☐ ない								

コード	9088	事務事業名称	介護認定審査会事業				所属名	長寿支援課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			介護認定審査会は、介護保険法及び介護保険条例の規定により市が設置し、審査会員は、保健・医療・福祉に関する学識経験を有する者の内から市長が任命するものであるため。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			高齢化の進展に伴い申請件数が増加し、それに伴い審査件数も増加することが予想される。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☒		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
特になし									

所属長コメント	介護保険法に基づく認定業務の適正実施のため必須であると考える。								
評価調整委員会意見	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☒ 現状のまま継続									